

【おいしさ再発見！伯方の塩】プレゼント企画 第1弾 みきゃんと伯方の塩セット



【写真1】みきゃんと伯方の塩セット



「は・か・た・の・しお♪」のCMでおなじみの「伯方の塩」。スタンダードな粗塩をはじめ、伯方の塩で漬けた梅干しなど、様々な商品をセットにして毎月プレゼントします！朝日マリオン・コム編集部による「伯方の塩」にまつわる《ひとつまみコラム》もお届けします。

第1弾は、「みきゃんと伯方の塩セット」（700円）を、**15人**に。

愛媛県イメージアップキャラクターの「みきゃん」と「伯方の塩」がコラボレーション。「みきゃん」をパッケージにあしらった「みきゃんとあらしお200g」「みきゃんとやきしお250g」「みきゃんとフルール・ド・セル150g」を各1袋と、「オリジナルマグネット」と「小冊子」が付いた5点セット。持ち手が付いたオリジナルボックスで、お土産やプレゼントにも。

▼「みきゃんと伯方の塩セット」の商品詳細はコチラ

<https://www.hakatanoshio.com/shopdetail/000000000243/>

▼「伯方の塩」ネットショップ

<https://www.hakatanoshio.com/>

※伯方の塩は輸入天日塩田塩と日本の海水が原料です。

◎伯方の塩 ひとつまみコラム◎

「伯方の塩」ってどこにある？ ——伯方塩業のあゆみ

伯方の塩の「伯方」は、瀬戸内海に浮かぶ「伯方島」に由来します。伯方島は、通称「しまなみ海道」（西瀬戸自動車道）沿い、愛媛県今治市側から数えて2つ目に位置する島です（写真2）。

::*:*:*:*:*:*:

この瀬戸内海沿岸はかつて、日本でも有数の塩田地帯でした。江戸時代後期には国内塩の約9割を担っていたといえます。伯方島にも19世紀の初頭から3つの塩田がつくられました。自然の力を利用した塩田は、長い間、日本の製塩を支えながら、瀬戸内の風物詩として親しまれました（写真3）。

::*:*:*:*:*:*:

しかし1971年（昭和46年）、その歴史に終止符が打たれます。塩田を全廃させイオン交換膜製塩に切り替える「塩業近代化臨時措置法」が成立したのです。これに対し、松山市在住の有志が「食物は自然に近い方が良い」という趣旨を掲げ、塩田塩を残すために運動を起こします。「自然塩持続運動」です。5万人の署名を集め、国会、関係省庁へ請願しました。

::*:*:*:*:*:*:

運動の結果、塩田を残すことは叶いませんでしたが、伯方島で特殊用塩として生産できるようになりました。これが現在の「伯方の塩」です。「伯方の塩」という名は、伯方島の塩田を復活したいという願いの象徴となってつけられ、その精神と想いは、いまでも伯方塩業に受け継がれています。

▼「伯方の塩」のあゆみ

<https://www.hakatanoshio.co.jp/history/origin.html>

▼伯方塩業公式サイト

<https://www.hakatanoshio.co.jp/>

▼おいしさ再発見！伯方の塩特集ページへ

https://www.asahimullion.com/contents/present/hakatanoshio_special_2020/index.html

〈当選発表は発送をもって代えさせていただきます〉
〈当選権利は、第三者への譲渡または換金等はできません〉
〈ご住所、電話番号などの登録情報をご確認ください〉

🕒 2020年10月15日16時締め切り